

平成26年度しまね地球温暖化防止活動大賞受賞者 【事業者部門】

大賞	山興緑化有限会社
優秀賞	株式会社松永牧場
優秀賞	株式会社スター精機出雲工場
優秀賞	有限会社ジンザイサニテック

山興緑化有限会社

平成22年8月にエコアクション21認証・登録、「エコアクション21実行委員会」を設け、月1回の定例会で様々な活動を計画している。

雨水タンクを4基に増設。設計、施工を社員で行った。トラックや営業車の洗車、堆肥の製造工程で利用している。その結果、雨水タンク設置前より水使用量が30%削減された。植樹した社有山林の整備（3年目）、社屋の生垣の植樹・プランターにより社屋周辺を花と緑いっぱいにする取り組みを社員、家族、取引業者とともにやり、森林整備や環境整備への意識の醸成を図った。

その他、事務所のコーヒー殻の堆肥化によるグリーンカーテンの栽培、全車のアイドリングストップ及びエコドライブの徹底、社員施工により電柱にソーラー照明灯を増設し、温暖化対策に取り組んだ。

また、みどりの募金への募金活動、町内の川への稚アユの放流（9年連続）、地域の草刈り、ごみ拾い（毎年1回）、「さんべ桜の里づくり」への協賛、社員と家族から環境標語を募集し表彰するなど、多彩な環境保全活動に取り組んでいる。

平成26年度しまね地球温暖化防止活動大賞受賞者 【事業者部門】

株式会社松永牧場

牧場の環境問題が深刻化する中で、資源の循環を最重要課題の一つと位置付け、循環型農業を先導する企業を目指す取り組みを行った。

平成24年12月に牛舎の屋根に太陽光発電パネルを設置し、グループ計4MWの発電をしている。太陽の光が直接当たらないため、夏場は牛舎内の温度が4℃下がり、飼育牛にとって快適な環境となっている。

平成20年8月から、産廃だったオカラや焼酎の絞り粕等を乳酸発酵して飼育化することに取り組み、食品残渣を30日間乳酸発酵させ、飼料として再生化することを実現した。

飼育牛2,000頭につき、1日で大型ダンプ4台分となる糞尿（一頭1日当たり、およそ20kgの糞と5ℓの尿）を堆肥化し販売している。昭和60年から取り組みを開始した。

平成15年7月にISO14001を認証取得し、畜産業では難しいと言われている環境マネジメントに取り組んでいる。

株式会社スター精機出雲工場

産業用ロボット、FA機器の開発設計、製造販売、修理点検・保守の事業を行うにあたり、特に環境配慮型経営に努めている。時系列的にCO₂排出量等の検証を行い、社員に周知し、経営が環境に与える負荷を意識することに取り組んでいる。

具体的には、これまで空調のデマンド制御の導入、サマータイム制の導入、作業時のクールベスト着用、高効率水銀灯や太陽光設備の導入など多岐に渡って取り組んできた。

【参考】H24エネルギー消費量

種別	使用量	CO ₂ 削減量	コスト
電気	603mwh	338.2t-CO ₂	1,315千円
LPG	2,138m ³	12.9t-CO ₂	549千円
計		351.1t-CO ₂	1,864千円

平成26年度しまね地球温暖化防止活動大賞受賞者 【事業者部門】

有限会社ジンザイサニテック

平成20年3月14日にエコアクション21を認証取得。企業活動を通して、地域環境・地球環境の保全に努め、健全でクリーンな未来社会実現に貢献することを基本理念として、①自動車使用燃料の削減、②廃棄物処理量の削減、③総排水量の削減、④コピー紙使用枚数の削減、⑤情報提供・地域の環境保全活動に取り組んでいる。

主な取り組みとして、平成25年11月に社屋屋上に太陽光発電設備を設置したほか、全照明をLED化し消費電力を削減した。業務用車両に尿素触媒のディーゼル車を2台、ハイブリッド車を1台導入。また、ドライブレコーダーを全59台に設置し、記録を残し安全運転と経済走行に努めて自動車用燃料の抑制を図った。

洗車時間の短縮、トイレ用水の節減を実施。また、井戸水の使用量をメーターで計測し計画的な水道水の節水に役立っているほか、井戸に浄水装置を取り付け、風呂場、洗濯機に井戸水を利用することにより水道水の使用抑制を図った。これらの活動を自社ホームページで環境活動レポートとして情報提供している。

表彰式



山興緑化有限公司



受賞者(個人・団体)の皆さん



株式会社松永牧場



株式会社スター精機出雲工場



有限会社ジンザイサニテック